

令和6（2024）年度

児童館事業年間活動報告書

<様式10-1>
養正児童館

		活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題		
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
子ども	基本活動	2) 遊びの教室活動															
		おはなし会	12		6	325	3	35	2	32					403	毎月1回「京都おはなしを語る会」の方々に来ていただき、絵本の読み聞かせや民話などの語り聞かせ・素話を行った。	素話が始まると集中して楽しんでいることも多いが、自由に遊べないことへの不満を出すこともあった。どのような形で行っていくのが次年度の検討課題である。
		3) 行事活動															
		避難訓練	11		18	268	3	41							330	火災や地震、水害等の災害時や不審者対応の避難行動訓練を行った。また、職員の消防訓練としても行った。	毎月様々な状況を想定した訓練を積み重ねることで、避難行動が身につけてきている。今後も引き続き、訓練の大切さをこどもたちに伝えていく必要がある。
		防災避難訓練	1			25		2		5					32	左京消防署、養正自主防災会、養正消防分団と連携をして、小学校まで避難を行う訓練をおこなった。	毎月の避難訓練だけでなく年に1回であっても地域と連携を行い訓練を行うことで、参加者により強く防災意識を高めることができていた。
		てづくりウィーク	12	1	8	59		9		1					78	短冊書きとオリジナルの七夕飾りを作り、笹への飾りつけを行った。	七夕飾りは短冊を書き笹に飾り付けをしたことで季節を感じられる工作となった。工作の機会を増やすことも取り組んでいきたい。
		児童館で楽しもウィーク	5		6	40	1	7							54	4月に自由来館の垣根を下げる目的で行い、毛糸のポンポンキーホルダー作りと館内クイズラリーを行った。	初めて児童館に来る児童もあり、そこからの児童館利用につながることができた。また、参加したこどもたちも喜んで工作とラリーに取り組んでいた。
		マンカラチャレンジウィーク	7		2	13	3	8							26	マンカラ大会の練習を兼ねて、多くのこどもたちとのマンカラ対戦を行った。	大会に向けてモチベーションを上げることができたが、例年に比べて参加者が少なく、マンカラ自体の浸透があまりできていない面があった。
		ハイザイアート	1	5	2	31	1	7		9					55	スタジオぐりに協力を得て、使われなくなった素材から自由な発想で工作を行う取り組みを行った。	小学生だけでなく地域の乳幼児親子の参加もあった。廃材から自分の作品を作ることで、工作心や遊び心だけでなく環境への意識を高めることにもつながった。
		水あそび	2	1	1	28	1	5		1					37	館の庭に出て、水鉄砲や水風船などを使っての水遊びを行った。	季節の行事として2回行うことができ、こどもたちもとても喜んでくれていた。夏休みのお楽しみ行事として来年度も続けていきたい。
		マンカラ大会	1			10	3	4							17	マンカラの優勝者を決めるトーナメント戦を申込制で行った。	普段の児童館では感じる事が少ない緊張感の中、真剣勝負で試合を行えたことが参加者の貴重な経験・成長につながった。
		防犯教室	1		1	29		1		1					32	下鴨警察署スクールサポーターの方に講師として来ていただき、自分の身を守るために大切なことなどを学んだ。	普段あまり意識することが少ない自分の身を守ることに、年に一度であるがしっかりと考えることができた。
		あったかプレゼント作り	15			14		3							17	「ようせいあったかおとどけ隊」当日に渡すプレゼント（千支の絵馬）作りとメッセージ書きを行った。	希望者だけではあったが、心を込めて作ったプレゼントで地域の高齢者の方が喜んでいただけたという経験が、子どもたちの達成感や自己有用感の向上につながった。
		おとまり会くじびき会	1		4	4	1	1							10	おとまり会に向けて、高学年スタッフのこどもたちが準備を行い、参加者への説明会を行った。定員未満のため、くじびき会は行わなかった。）	おとまり会に向けてのオリエンテーションという位置づけで、参加者に詳細を伝えることができた。また、高学年スタッフがしっかりと準備をしてくれた。
		ワクワクわくスタッフ会議	4			2	4	3							9	おとまり会に向けた企画・準備を行った。	高学年スタッフがしっかりと意見を出してくれて、また、それを形にすることができた。少人数ではあったが4ヶ月にわたる会議でスタッフの成長を見ることができた。
		ハロウィンデイスタッフ会議	1					3							3	ハロウィンデイに向けて企画・準備を行った。	ハロウィンあそびコーナーの準備や当日のお菓子配布等、しっかりと役割を果たしてくれた。参加を増やす工夫が必要。
		はじめての手話～手話は言語です～	1		1	30	2	3		4					40	聴覚障害のある方と手話通訳者の方に来ていただき、聴覚障害や手話に関しての講座を行った。	小学校で手話を学んでいるこどもたちもあり、講師のお話も興味を持って聞いていたこどもが多かった。手話についての事前学習など、より深い学びにつながる方法を検討してもよいだろう。
		将棋大会	1		1	3									4	「みんなの思いをきかせてボックス」の声から生まれた行事。児童館で初めての将棋大会を行った。	こどもの声を行事へとつなげることができ、意見を出してくれたこどもだけでなく参加者の達成感や喜びにもつながった。
		おとまり会	2			22	2	6							30	「ようせいみんなのワクワクわくプロジェクト」として、企画募集から投票までを行い、初めてのおとまり会につながった。当日はみんなあそびや駄菓子の買い物など、こどもたちがやりたいことを多く取り入れた。	「こどもみんなか」の取り組みとして、こどもの意見を反映する取り組みができた。高学年スタッフが企画や準備・しおり作成から中心となって頑張ってくれたことで、当日参加してくれたこどもたちの楽しみにつながった。

育 成 機 能	動	1 日館長先生ウィーク	20			15	1	4					20	「みんなの思いをきかせてボックス」の声から生まれた行事。その日はこどもが「館長先生」となつて、本物の館長先生の椅子を使えたり、館内アナウンスなどを行った。	こどもの意見を反映する取り組みとして行うことができ、多くのこどもが参加してくれた。終了後も「もう一度したい」という声も多く、こどもたちの喜びにつなげることができた。
		オセロ大会	1			7		1					8	「みんなの思いをきかせてボックス」の声から生まれた行事。児童館で初めてとなるオセロ大会を行った。事前に募集した実行委員が、景品の企画や大会の準備、進行を担った。	こどもの意見を反映する取り組みを職員主導で行うだけでなく、実行委員を募集して、より多くこどもの声を大会に活かすことができた。
		4) クラブ活動													
		けん玉・こまクラブ	24		2	191		16					209	持ち方や回し方から練習をし、様々な技の習得に向けて練習をする。「こま長回し大会」も行った。	職員に指導を受け、コツを教えてもらいながら練習を進めていた。クラブ以外の時間にも、こまやけん玉に励む姿が見られた。
		ぬりえクラブ	24		9	276	9	44					338	きれいにぬるコツをつかみ、様々なぬりえを楽しむ。	前後期ともに申込人数が多く、とても人気のクラブとなっていた。また、半期ごとのぬりえコンクールを楽しみにしてぬりえに励んでいる子もいた。
		卓球クラブ	42		50	37	28	30	3	1			149	ラケットの持ち方やサーブの打ち方など練習しながら、卓球を楽しむ。	6月に開催されたなかよし卓球大会に向けての練習として高学年の参加も見られたり、卓球への意欲を高めることにつながっていた。
		高学年クラブ	10				46	15					61	毎月1回、子どもたちが企画した内容で、クラフトや水あそび、クッキング、遠足などを行った。	自分たちがやりたいことを形にしていこうということを経験でき、子どもたちの満足度は高かった。最後の回には、夜20時30分までのを行うこともでき、次年度への意欲を高めることにつながった。
		5) 地域間交流促進活動													
		左京・東山児童館学童保育所なかよし卓球大会への参加	1		2	1	4	1					8	参加希望者を募って、なかよし卓球大会に出場した。	低学年、高学年それぞれが大会への気持ちを持って参加ができ、普段の児童館での練習とは違う雰囲気と気持ちを体験することができた。
		6) 障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進													
		7) 思春期児童の活動支援													
		開放デイ	12						41				41	中高生対象行事として、中高生のしたいことができる日として行った。	普段来館している中学生が来てくれ、普段とは違う遊び等を提案できたので、より一層の来館定着につながった。また、中学生の声からかき氷やたこ焼き作りを行い、新しい展開にもつなぐことができた。
		中高生世代と赤ちゃんと の交流活動『にこにこう んどうかい』	1	14					24	16			54	高野中学校と連携して、幼児親子と中学生とのふれあい運動会を行った。	中学生がとても積極的に幼児親子に関わる姿が見られて、よい交流となった。行事後のアンケートからは中学生にとっても保護者の方にとっても、楽しく有意義な行事となったことがうかがえた。
		中高生世代と赤ちゃんと の交流活動	4	23					68	19			110	東山総合支援学校と連携して、講師に助産師を招いての赤ちゃん講座、元児童館保護者による子育て講座を行った。命の成り立ちや出産、子育てについて学ぶ。子育て講座では、養正保育所の園児が来館し、遊びを通しての交流も行った。	関心を持ちながら積極的に参加する生徒の姿が多く見られ、活動終了後の感想では、命の成長への理解や自身の愛情の再確認などが聞かれた。連続講座とすることで、より深い理解へつなげることができ、将来へのイメージを上げることができている。
		合 計	217	44	113	1430	112	249	138	89	0	0	0	2175	
	推 進 活 動	9) 地域を知る活動													
		1 0) 移動児童館活動													
		体育館であそぼう	1		3	31	4	10					48	体育館で、逃走中などのみんなあそびと自由あそびなど、のびのびと遊びを楽しむ。	外遊びが難しい夏休みにこどもの経験の一つとして行うことができ、広い体育館で走り回り遊べたことで、体を動かしてあそぶことの楽しさを共有することができた。
		合 計	1	0	3	31	4	10	0	0	0	0	0	48	
	子ども育成機能 合 計		218	44	116	1461	116	259	138	89	0	0	0	2223	

＊注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(1 0)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和6（2024）年度 児童館事業年間活動報告書 （ 養正 ） 児童館

		活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子ども基本	基 本	(1) 乳幼児とその保護者対象														
		①幼児クラブ活動														
		ばんだこばんだ	36	337						308				645	季節の工作や遊び、周辺地域での館外活動の他、ハロウィンパレードや消防署と連携した避難訓練など、地域や関係機関と連携した取組も行った。今年度はさつまいも植え～さつまいも掘りといった食育に関する取り組みや子育て講座も取り入れた。	職員と親子一緒に充実した楽しい活動を作り上げることができた。家ではできないあそびを行うことができ、年度末アンケートからも保護者の満足度が高かったことが伺えた。1年間で保護者間の関係も深まっていき、次年度も利用者の声をききながら一緒にクラブを作っていきたい。
		②乳幼児の広場活動														
		のびのびひろば	60	129					3	120				252	部屋を開放。おもちゃや絵本など楽しみながら、自由に過ごしてもらえる場としている。	ゆったりとした雰囲気の中で自由に過ごすことができ、利用者同士おしゃべりをしながら楽しそうに過ごす場面も見られた。クラブや取組ではない気軽な利用につながった。
		ぞうさんブレイダー	15	61					1	61				123	トランポリンやトンネル、ミニジャングルジム等の大型遊具を設置しての広場。最後にみんなで体操を楽しむ。	毎回の利用者数の増減は大きかったが、体をダイナミックに動かす年齢ではない0～1歳の乳児であっても、この取り組みのために来られる方もいる程、一定のニーズはあった。
		めばえ広場	28	121						117				238	1歳6ヶ月頃までの乳児親子向け取組。参加者同士でのおしゃべり等も楽しみつつ、季節の手形アートや設定あそびを行う。毎回、読み聞かせとふれあいあそびを行った。また、はぐくみ室保健師による講座やこどもみらい館図書館司書による講座も行った。	月3回の開催が利用者の定着につながっていた。自由参加ではあるが、利用者増加の方法を検討していきたい。
		ほっこりヨガ	12	44						64				108	保護者向けの取組。プロの講師を招き、ヨガを行うことで日々の疲れを癒しリフレッシュする。	他学区から来られた李、保護者のみなど、幅広い利用があった。参加へのリピート率が高くニーズもあるので、講師の先生のご意見も伺いつつ、しっかりと継続していきたい。
		アルバムカフェ	9	25						38				63	元・幼児クラブ保護者の方2名が主催してくださっている。参加者が写真を持参し、スクラップブックングを教えてください。年2回、別企画として、今年度はフラワーアレンジメントとベビーポスター作りを行った。	スクラップブックングだけでなく特別企画も開催していただき、主催の保護者の方の思いが形にできている取り組みである。継続して毎回来られる方もおり、利用者にとっても居場所の一つとなっていた。
はなまるひろば	10	34						45				79	親子で自由に過ごす中で、子育て相談を気軽に保育士等に行える場としている。今年度は児童館学童連盟統合育成担当の岡崎先生による「特別講座」を1回行った。	関係機関と連携し、困りや不安を抱える保護者への支援ができた。今年度は岡崎先生による特別講座に10組以上の親子が参加されたので、次年度もぜひ企画していきたい。		

関係機関と連携し、困りや不安を抱える保護者への支援ができた。今年度は岡崎先生による特別講座に10組以上の親子が参加されたので、次年度もぜひ企画していきたい。

も 家 庭 支	活 動	のびのびサマー	11	23					16				39	小学校の夏休み中に、乳幼児親子対象に2階図書室を開放して遊べるようにする取り組み。持参したランチを食べてもらうこともできる。	夏休み中の乳幼児親子への取り組みとして喜んでいただけた。乳幼児親子の選択肢の一つとして定着していけるようにしたい。
		(2) 家族参加を促す活動													
		ベビーサイン体験講座	1	3					4				7	ベビーサイン講師を招いて、乳児親子対象のベビーサインの体験講座を行った。	講師の人柄もあり、参加された方々はとても楽しんでいた。利用者の一つの体験の場として、今後も行っていけるとよい。

援 活 動	子育て講座 「歯科衛生士さんによる 歯のお話」	1	4					5				9	左京保健福祉センターから歯科衛生士を招いて、歯みがき指導 や乳幼児の歯についての講座を行った。	利用者が開催してほしい講 座をきいて実現したもので あり、今後も利用者の声を 聞きながら講座開催につな げていきたい。	
	子育て講座 「トイレトレーニングの進 め方」	1	6					8				14	左京子どもはぐくみ室の保健師を招いて「トイレトレーニン グ」についての講座を行った。	実際に悩んでいる方や関心 がある方が多いテーマであ るので、この講座を聴くこ とで少しでも悩みが解決に 向かうよう、次年度も継続 して行いたい。	
	ひなたぼっこ	3	9					13				22	ネイティブの講師を招いた英語での取組「英語であそぼう」を 3回行った。	参加者は多くはなかった が、ひろば等の利用者にも もっと気軽に参加してもら えるよう、引き続き声掛け をしていきたい。	
	クリスマスコンサート	1	12	11	2	4	2	23				54	吹奏楽チーム「クラインウインドオーケストラ」を招いて、ク リスマスのコンサートを行った。演奏後にはサンタからのプレ ゼント渡しも行った	乳幼児だけでなく、小学生 から高齢者の方まで多くの 参加があった。今後も利用 者のニーズも聞きながら内 容を検討していきたい。	
	合 計	188	808	11	2	4	2	4	822	0	0	0	1653		
	(3)子育て家庭相談・援助 活動	子どもの年齢	件数		受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等	
乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生		3		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 {				3	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 {			3	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他{		3
件数 計		3		—				3	—			3	—		3
(4)子育てグループを育成 ・支援する活動		グループ名	構成人数		活 動 内 容				育成・支援内容				成果と課題		
	アルバムカフェ	2名		主催保護者の指導により、スクラップブックングを楽 しむ（こどもの写真を各自持参）。また、年2回はハ ンドメイドなど別の活動を行う。				会場提供、材料や道具等の貸し出し、 子どもの見守りなど。				主催されている保護者の方の熱意もあり、 募集チラシの作成を始め、多様な取り組み を企画されている。			
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関す る啓発活動	活動名		実施回数		活 動 内 容						成 果 と 課 題			
		「利用者アンケート」の結果を受けた取組		随時		アンケート結果とそこから見えてきた課題をおたよりと一緒に配布し地域に公開。 課題解決に向けて努める。						利用者の声を聞くことができ、課題や地域のニーズが把握できる。今後の 活動につなげたい。			
		館内や児童館掲示板による広報		随時		児童館での取組のみならず、地域での活動においても、チラシやポスターを館内や 掲示板に貼り出し、健全育成に關しての啓発を進める。						興味をもってポスターを見たり、チラシを持ち帰る利用者の姿が見られ た。			
		児童館だより配布		随時		児童館利用者や「京都市家庭ごみ有料指定袋」引き換えのための来館者などに對し て、児童館だよりやチラシを配布する。						児童館のPRやその後の利用につながった。地域への配布もさらに広げ ていきたい。			
		児童館だよりの地域回覧		月1回		地域の協力のもと、児童館だよりを地域住民に広く配布する。屋内外の掲示板にも 貼り出す。						児童館の活動を地域住民に広く周知できた。			
		ホームページによる広報		月1回		毎月末に更新。児童館や学童クラブに関する概要、翌月の取組などをお知らせす る。						サイト内でポスターやおたより等の閲覧も可能とする。児童館だよりに QRコードも掲載している。			

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

令和6（2024）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 養 正 ） 児 童 館

<様式10-3>

地 域 基 本 社 会 促 進		(1)地域住民との交流を促進する活動	活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
			養正なかよしサロン	10	養正社会福祉協議会・養正民生児童委員協議会	43					36	118	197	養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、養正保育所、東山総合支援学校	今年度は昨年度に引き続き、民生委員企画であるトークCAFEが開催できたりと各団体が参画した内容で行うことができた。また、支援学校の生徒がとても積極的に乳幼児親子に関わってくれて、とてもよい多世代交流の場にもなっていた。
			すこやかサロンとの交流	2	養正社会福祉協議会		1	62	5	12		19	99	養正社会福祉協議会、京都市高野地域包括支援センター	地域の高齢者サロンと交流ができ、児童たちにとってもとてもよい機会となった。ただ、1回目は夏休みに合わせて真夏の開催となるため、高齢者の方にとっては参加が難しいということをはっきりと考慮していく必要がある。
			おもちゃ病院	1	養正児童館	4	2					14	20	SKYおもちゃ病院	物を大切にすることを伝えることにつながり、児童館で行っていることで地域貢献にもつながっている。年に2回ほど開催できればなおよいだろう。
			「ようせいおばけやしき」に行こう！	1	養正児童館		2	2		2			6	養正社会福祉協議会、左京西部いきいき市民活動センター他	学区内で行われる大きな取り組みに参加することで、地域諸団体との連携を深めることができた。また、今年度は学童クラブ児童のダンス発表も行うことができた。
			児童館deフードドライブ	3	京都市児童館学童連盟							8	8	京都市児童館学童連盟	今回も地域の方々が多くのご食料品を届けてくださった。児童館としての社会貢献にもつながる取り組みである。
			ようせいハロウィンデイ	1	養正児童館	8	17	3	3	3		12	46	養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、養正体育振興会、ようせいこども会	地域の方々の協力も得ながら進められ、季節のイベントを多世代で交流しながら楽しむことができた。今年度は雨のため館内でのパレードとなったが、地域を盛り上げる児童館行事として定着を図りたい。
			ようせいワイワイフェスタ	1	養正地域子育て支援ステーションネットワーク	42	49	2	30	1	3	79	206	養正小学校、養正保育所、メグミ幼稚園、小規模保育園キコレ、養正民生児童委員協議会	学校や地域と連携しながら今年度も開催できた。学童クラブの保護者からも協力を得ることができ、館への理解にもつながった。小学校の行事と同時開催であり、スタッフの確保等の課題はあるが、地域内をつなぐおまつりとしてより改善を図ってきたい。
			ようせいあったかおとどけ隊	1	養正児童館	1	1	3	1	3		11	20	養正養寿会	地域の高齢者の方との交流や、気持ちを形として実際に手渡しでお渡しすることで、児童の中での達成感や自己肯定感、地域への愛着につながっている。
			ようせいクリーンウォーク	2	養正児童館	2	9	7	1	6		3	28	飛鳥井公園愛護協力会	地域団体とも連携をしつつ、楽しみながら地域のゴミ拾いを行うことで、エコへの意識を高めることができた。また、地域貢献を行うことで、児童の達成感や児童館のPRにもつながった。
			合 計	22	—	100	81	79	40	27	39	264	630		

機能	動	活 動 内 容		活 動 人 数				成 果 と 課 題	
				中高生	大学生	大 人	合 計		
		(2) ボランティア活動の推進	遊びの中での子どもの見守り			19	6	25	活動回数は少なかったが、遊びを通して子どもと積極的に関わる姿が見られた。子どもたちにとって、幅広い年齢層との関わりをもつことができ、良い交流となった。
			行事スタッフ			3		3	普段は来られない学生ボランティアも、行事スタッフとして参加してくれたことは、ボランティア育成にもつながるものであった。定着が課題ではあるが、今後も継続して働きかけていく必要がある。
				合 計	0	22	6	28	
(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容					成 果 と 課 題		
	養正小学校	毎月１回、「学校連絡会」として、養正小学校との連携を図り、子どもたちの様子や取組等の情報交換を行う。					児童の様子を中心にして情報共有を行うことで、小学校との連携がさらに深まっている。		
	養正小学校、養正小学校PTA	小学校とPTA主催の「ようせいクイズラリー」へのあそびコーナー出展と当日に児童を引率して参加する。また、小学校主催の「クリーン大作戦」に職員と児童とで参加する。					小学校とPTAとが主催する行事への協力を通して、より連携を密にすることができている。		
	養正民生児童委員協議会、養正小学校、養正保育所、メグミ幼稚園、小規模保育園キコレ、左京子どもはぐくみ室	年４回、「養正地域子育て支援ステーションネットワーク会議」として、情報交換や事業報告などを行う。また、年１回「研修会」を行い、地域の子育て支援施設職員の研鑽の場を設ける。					各施設の様子や取組など、様々な情報を共有することができた。連携しながら取組を行うこともでき、地域への支援につなげることができた。		
	東山総合支援学校、高野中学校、養正小学校、養正保育所	毎月１回、「養正地域教育機関連携協議会」として、各施設長が集まり、情報交換を行う。					各施設の取組や様子を知ることができた。地域の課題を共有し、連携しながら動くことができた。		
	養正社会福祉協議会、養正老人クラブ連合会養寿会	地域で行われている「養正すこやかサロン」に職員が参加し、養正社会福祉協議会や養寿会、また地域住民との交流を行う。					参加することで地域の高齢者の声を直接聞くことができ、地域団体との連携も深まっている。また児童館の宣伝にもつながっている。		
	養正自主防災会	自主防災会主催の「養正学区総合防災訓練」に職員が参加し、訓練見学および実際の体験を行う。					参加することで自主防災会との連携を深め、相互協力できる関係を築くことができている。また児童館の宣伝にもつながっている。		
	養正体育振興会	体育振興会主催の「スポーツに親しむ会」に職員が参加し、運営補助等を行う。					参加することで体育振興会との連携を深め、相互協力できる関係を築くことができている。また児童館の宣伝にもつながっている。		
	ようせいこども会、養正小学校、左京西部いきいき市民活動センター	ようせいこども会主催の「ようせいおばけやしき」に職員が参加し、コーナー展開などの運営補助を行う。					参加することでようせいこども会との連携を深め、相互協力できる関係を築くことができている。また児童館の宣伝にもつながっている。		

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4)児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題
			児童館運営協力会		養正社会福祉協議会 養正市政協力委員連絡協議会 養正民生児童委員協議会 下鴨少年補導委員会養正支部 養正体育振興会 養正養寿会連合会 養正小学校PTA 養正小学校 高野中学校 養正交通安全会 養正自主防災会、 左京消防団養正分団		年1回		以下の内容を、文章や写真とともにお知らせする。 ・児童館概要 ・事業報告、紹介 ・利用者アンケート結果報告 ・次年度年間活動報告 ・年間利用状況報告		日々多くの事業を行っていることを知っていただき、地域諸団体の方々との関係を一層深めることができた。また、児童館に対しての多くのご意見をいただくことができて、事業に生かすことができています。 様々な情報交換を行う中で、今後も地域の声やご意見、ニーズを把握するとともに、活動に生かしていきたい。
	推 進 活 動	(5)地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先（団体・機関等）		成果と課題		
			「養正なかよしサロン」への会場提供		子育て支援、地域住民とのふれあい活動のため（月1回）		養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、養正保育所、東山総合支援学校		干支工作などの季節の工作、おもちゃ作りや茶道体験、ブックカフェを行った。特に今年度は東山総合支援学校の生徒たちが積極的に子どもたちや保護者・スタッフの方々に関わる様子を伺うことができ、世代を越えた関わりも楽しむことができた。児童館としても、子育て支援や地域の様々なつながりを生み出していけるよう、今後も場所提供や取組において協力していきたい。		
		(6)地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法		成果と課題		
			児童館利用者 共通アンケート	利用者の声を聞き今後の活動につなげていくため	自由来館乳幼児保護者 自由来館児童 学童クラブ登録児童 学童クラブ保護者 児童館利用の地域の方	京都市社会福祉協議会	選択、自由記述式アンケート（WEB上での回答、来館時の配布）		利用者の思いや地域のニーズなどを知ることができた。課題も把握することができ、今後活動を進めていく上での貴重な情報となった。昨年度に続き、回収率を上げるためにどのように取り組みを進めていくかが課題となっている。		
			幼児クラブ 「ばんだこばんだ」 年度末アンケート	利用者の声を聞き今後の活動につなげていくため	幼児クラブ保護者	養正児童館	自由記述式アンケート（最終取組日に配布）		「親子ともども楽しみにしていた」「他の館のお手本になるような施設」などの声が聞かれ、職員の励みにつながった。さつまいも掘りや水遊び、おでかけなど、具体的な取組名も挙がり、今後の活動の参考となる内容であった。		
			年度末実施のアンケート調査 （その他複数の乳幼児活動）	今後の活動につなげていくため	活動利用の保護者	児童館における各取組主催者	自由記述式アンケート（各取組最終日に配布）		普段の会話の中では出てこないことも含めて、様々な利用者の思いを知ることができた。利用者のニーズを把握し、今後の様々な取組につなげていきたい。		
			居場所についてのアンケート	こどもの意見を市政に生かすため	小学生、中高生	京都市	選択、自由記述式アンケート（WEB上での回答）		全市での取り組みに養正児童館として参加ができたことで、自分たちの声が政治に活かされるという経験をすることができた。		

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	月1回	養正小学校児童と教職員、東山総合支援学校、養正図書館、養正保育所、ほっこりはあと出町、メグミ幼稚園、養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、市政協力委員、地域住民他	館内での掲示と配布、関係機関へ直接配布、小学校での配布依頼、主任児童委員への配布依頼、会議等での配布、地域回覧など	毎月の取組、取組の様子掲載、児童館からのお知らせなど	地域に広く児童館を知ってもらうため、毎月地域での回覧や小学校からの全家庭配布も行っていた。また、近隣の子育て支援関係機関や左京区役所への設置など、広範囲での広報により、利用者の増加につながっている。
	児童館利用のお知らせ	年1回	児童館利用者	館内での配布、児童館掲示板にてお知らせ	児童館の利用、遊戯室の使い方などについて	児童館の利用の仕方やルールなどの周知のために作成。安心、安全な利用のために配布する。ルール等に関して視覚的にも明示することで、利用者の理解しやすさにもつながった。
	児童館利用案内	年1回	児童館利用者（保護者向け）	館内掲示	館内図、避難経路や非常口の案内、お願いなど	掲示や口頭での周知を行う。説明時に活用できた。
	各取り組み・行事のポスター、チラシ （毎月の取組：「めばえ広場」「ぞうさんプレイデー」「ほっこりヨガ」「おはなし会」「養正なかよしサロン」「アルバムカフェ」「はなまるひろば」 その他行事：「子育て講座」「ひなたぼっこ」「てづくりウィーク」「おもちゃ病院」「児童館deフードライブ」「ようせいハロウィンデイ」「ようせいワイワイフェスタ」「クリスマスコンサート」「ようせいあったかおとどけ隊」「ようせいクリーンワーク」「将棋大会」「オセロ大会」など）	毎月1回 ～ 随時	児童館利用者、地域住民 （乳幼児親子～高齢者）	ホームページ、児童館内配布、掲示、屋外掲示板、カフェボード、近隣へのポスター掲示依頼、養正社会福祉協議会・養正民生児童委員協議会・養正小学校・養正保育所・東山総合支援学校等へのポスター掲示	取組の日時や内容のお知らせ	ポスターを作成し、遊具や取組の様子を掲載することで、利用者の興味付けにつながり、また、利用にもつながった。関係機関と協力しながら広報に努めることで、より一層の利用拡大を図っている。
	利用者アンケート実施のおしらせ、集計結果	各年1回	児童館利用者、地域住民	各関係機関や地域への配布	実施日時や内容、集計結果のお知らせ	おしらせ掲示の他、声掛け等により、利用者に協力していただくことができた。集計結果については地域や関係機関等幅広くお知らせをする。
	左京区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室発行の「左京はぐくみだより」及び「子どもはぐくみアプリ」	月1回	児童館利用者、地域住民	「左京区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室」より各子育て支援関係機関へ冊子を配布。また、WEB上に掲載	取組の日時や内容のお知らせ	様々な関係機関の情報が一目で分かり、本誌の情報により興味を持って利用される方々も多かった。
	児童館ホームページ	月1回	地域住民他	毎月末にページ内容を更新、翌月の取組の紹介を行う	児童館の概要、毎月の取組など	学区外からの利用もある。ポスター、児童館だより等の掲載を行うことで、ホームページを閲覧しての来館も多く見られた。今後は、更新回数を増やすことや、SNSの活用等、保護者のニーズに合う方法での広報も検討していく必要がある。
	幼児クラブ「ぱんだこぱんだ」入会募集ポスター、チラシ	年1回	児童館利用者、地域住民、 地域施設利用者	館内での掲示と配布、関係機関への配布とポスター掲示依頼、近隣施設へのポスター掲示依頼	取組の日時や内容、費用等の詳細をお知らせし、入会案内を行う	ポスターやチラシでの広報を広範囲に行う。興味を持たれる親子が増え、クラブへの登録につながった。

ファイル名	最終更新日時
2024_05_21_19_41_55_養正児童館_事業活動報告書101～105_202	2024/5/21 19:43
2024_05_14_19_29_48_養正児童館_事業活動報告書101～105_202	2024/5/14 19:30
2024_05_08_21_30_42_養正児童館_事業活動報告書101～105_202	2024/5/8 21:31
2024_05_07_20_54_33_養正児童館_事業活動報告書101～105_202	2024/5/7 20:55